

CASBEE-広島 (2010年ver.1)
可部南静養園

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります
欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2009年版
■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート	実施設計段階	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
			評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質							2.9
Q1 室内環境				0.40			3.3
1 音環境			2.6	0.15	2.1	1.00	2.5
1.1 騒音			3.0	0.40	3.0	0.40	
1 暗騒音レベル			3.0	1.00	3.0	1.00	
2 騒音対策				-		-	
1.2 遮音			2.0	0.40	1.9	0.40	
1 開口部遮音性能			2.0	0.40	2.0	0.30	
2 界壁遮音性能			2.0	0.60	1.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	2.0	0.20	
1.3 吸音			3.0	0.20	1.0	0.20	
2 温熱環境			2.9	0.35	3.0	1.00	2.9
2.1 室温制御			3.7	0.50	3.8	0.50	
1 室温設定			3.0	0.38	3.0	0.57	
2 室温変動の低減対策				-		-	
3 外皮性能			3.0	0.25	5.0	0.43	
4 ゾーン別制御性			5.0	0.38		-	
5 負荷・気候制御				-		-	
6 個別制御				-		-	
7 空調システムに対する配慮				-		-	
8 設備の稼働				-		-	
2.2 湿度制御			1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式			3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境			3.1	0.25	4.1	1.00	3.3
3.1 昼光利用			1.8	0.30	4.2	0.30	
1 昼光率			1.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口				-		-	
3 昼光利用設備			3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策			3.0	0.30	4.0	0.30	
1 グレア対策				-		-	
2 昼光制御			3.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度			3.0	0.15	3.0	0.15	
1 照度			3.0	1.00	3.0	1.00	
2 照度対策				-		-	
3.4 照明制御			5.0	0.25	5.0	0.25	
1 一括管理可能なシステム				-		-	
4 空気質環境			4.1	0.25	4.5	1.00	4.1
4.1 発生源対策			5.0	0.50	5.0	0.63	
1 化学汚染物質			5.0	1.00	5.0	1.00	
2 化学汚染物質対策				-		-	
3 化学汚染物質対策				-		-	
4 化学汚染物質対策				-		-	
4.2 換気			2.0	0.30	3.6	0.38	
1 換気量			3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能				-	5.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮			1.0	0.50	3.0	0.33	
4 換気設備				-		-	
4.3 運用管理			5.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視				-		-	
2 喫煙の制御			5.0	1.00		-	
建物内全面禁煙				-		-	
Q2 サービス性能			-	0.30	-	-	2.7
1 機能性			2.2	0.40	4.0	1.00	2.5
1.1 機能性・使いやすさ			3.0	0.60	5.0	0.60	
1 広さ・収納性				-	5.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応				-		-	
3 バリアフリー計画			3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性			1.0	0.40	2.5	0.40	
1 広さ感・景観				-	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース				-		-	
3 内装計画			1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理				-		-	
1 維持管理に配慮した設計				-		-	
2 維持管理用機能の確保				-		-	
2 耐用性・信頼性			2.9	0.31		-	2.9
2.1 耐震・免震			3.0	0.48		-	
1 耐震性			3.0	0.80		-	
2 免震・制振性能			3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数			3.0	0.33		-	
1 躯体材料の耐用年数			3.0	0.23		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			3.0	0.23		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			3.0	0.09		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0	0.08		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔			3.0	0.15		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔			3.0	0.23		-	

2.4 信頼性			2.6	0.19		-	
1	空調・換気設備		1.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備	非常時に備えた対応	5.0	0.20		-	
3	電気設備		3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		1.0	0.20		-	
3 対応性・更新性			3.0	0.29	2.6	1.00	2.9
3.1 空間のゆとり			2.8	0.31	2.2	0.50	
1	階高のゆとり	各階の用途に合わせた階高の設定	4.0	0.60	3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		1.0	0.40	1.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.1	0.38		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17		-	
2	給排水管の更新性	適切な天井裏空間と点検口	4.0	0.17		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22		-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30		-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.7
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.30		-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.5	0.20		-	3.5
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50		-	
2.2	自然エネルギーの変換利用	太陽光パネルの設置	4.0	0.50		-	
3 設備システムの高効率化		ERR=44.9	5.0	0.30		-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護			3.4	0.15		-	3.4
1.1	節水	節水機器の採用	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67		-	
2	雑排水再利システム導入の有無		3.0	0.33		-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.9	0.63		-	2.9
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20		-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	GL工法と乾式間仕切り	5.0	0.24		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.22		-	3.2
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.68		-	
1	消火剤	スプリンクラー設置	4.0	0.33		-	
2	断熱材		3.0	0.33		-	
3	冷媒		3.0	0.33		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮		敷地内の緑化。建物の配置計画	5.0	0.33		-	5.0
2 地域環境への配慮			2.5	0.33		-	2.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		2.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制	駐車場附置義務条例による駐車台数確保	4.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			2.4	0.33		-	2.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	0.33		-	
2	振動		3.0	0.33		-	
3	悪臭		3.0	0.33		-	
3.2 風害、日照阻害の抑制			1.6	0.40		-	
1	風害の抑制		1.0	0.70		-	
2	日照阻害の抑制	第一種住居専用地域への配慮、地盤面高低差の検討配慮	3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70		-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	